第9回 FSPインタビュー

福覚陶房 × 福田 覚（ふくだ さとる）

陶芸デザイナー

1953年、福井県に生まれる。1973年、㈱日本陶器（現：㈱ﾉﾘﾀｹｶﾝﾊﾟﾆｰﾘﾐﾃﾄﾞ）入社。食器デザイン部門に配属され、社内の陶芸に興味を持ち、本業である食器デザインを担当しつつ陶芸に勤しむ。2009年に養老に自身の工房を構え、定年を機に本格的に作陶を始める。趣味は、軽スポーツと写真撮影とウォーキング。

自分らしい“いろ”の追求。

できあがる作品はどれも唯一無二

Q、（福覚陶房さんにお邪魔するなり、作品の見本を見せてもらった。）あ！かわいい！

そうでしょう？（笑）うちの陶房では、こんな作品が作れるんですよ。お皿や鉢のほかに、ご要望に応じてカップや花器などもお作りいただけますよ。

Q、陶芸って難しそうなイメージです。崩れてしまったり…（笑）

福覚陶房の特徴としては、初めての方でも簡単に陶芸体験できる事です。タタラ作りと言う成形方法で、小学生のお子さんからご年配の方まで幅広い年齢層の方に楽しんでいただけます。また、木片を使い自分独自の模様を付けることも特徴の一つです。他には絵付け体験も可能です。これは、素焼き生地に25色の下絵付け用絵具で絵付けしたあと、透明の釉薬を施し、透明感のある器を焼き上げる方法です。

陶芸は、難しい印象を持たれている方もおみえかと思います。そこで、初めての方にはお皿と鉢を作成していただいています。そうすることで創作する楽しさが湧きますし、焼成後にマイディッシュ、マイボウルとして愛用いただけます。

Q、自分だけのモノをつくるって楽しそう！

そうなんですよ。私も念願だった工房を養老に構えて16年になりますが、陶芸に興味を持った当初から染付けの柔らかな藍色に惹かれ、現在も独自の下絵具の調合と、新たなデザインの開発に夢中になっています。現代の暮らしに添った「うつわ」、自分らしい「いろ」を求めて作陶しています。

今後は絵柄や形状デザインのみならず、土質による釉薬との変化と関わり方も研究課題とし、新たな独自性を見出したいと思っています。毎年個展も開催しておりまして、お越しいただいた方とも楽しい時間を過ごさせていただいています。

現在72歳、人生下り坂「最幸」！

Q、SUPPORTERの皆さんに一言お願いします。

個人的な趣味ですが、時間があれば、養老公園近くのお寺に朝8時に集まってラジオ体操をした後、数人で公園近くを約1時間ゆっくり散策して、カメラを片手に四季の移ろいを撮影しています。

養老の地に移住してから16年が経ちますが、そんな生活ができるのも養老の魅力だと思います。ぜひ、自分だけの「うつわ」をつくりにいらしてください。皆さんにお会いできるのを心待ちにしています。

「自分の世界に没頭」そんな体験ができます

福覚陶房

住 養老郡養老町五日市539-23

☎ 0584-32-3121

SUPPORTER特典

陶芸体験料金300円引き

（1枚でグループ全員対象）

※3名様以上の場合に適用となります。
※内容は取材当時のものです。

FSP（フレンドシップパートナー）って？

養老町公式ファンクラブである『YORO SUPPORTER WORLD』に入会した会員と一緒になって養老町を盛りあげていくお店や企業です。FSP登録店舗で会員証を提示するとお得にお買物や飲食が楽しめます。YSW公式HPにて登録店舗を紹介しています。

https://www.town.yoro.gifu.jp/docs/2022031700023/